

祭りの後に

先日、オリンピックメダリストたちの帰国記者会見が映しだされてきた。

四年後の東京五輪を見ずえている者、
静かに競技人生の終末を迎えようとしている者

全ては選手一人一人の心が決めていくことだ。

今宵は、朝と夜は五輪、昼間は
高校野球と忙しかった。
試合に見入ってしまったのは、一期一会と云う
要素があるからだろう。

どんな強豪校でも一発勝負で負けてしまう
ことがあるトーナメント方式はある意味残酷だ。

四年に一度の五輪も、選手活動のピークがそこに
重なるとは限らない。

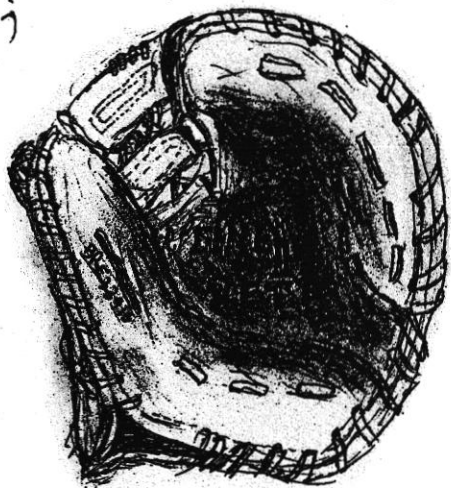
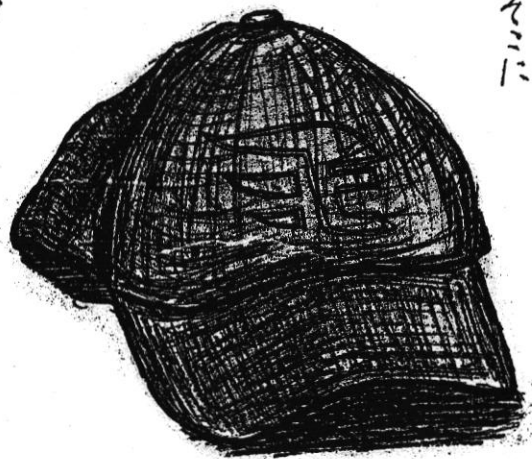
だから番狂わせも起さず、予想を超えた
ドラマが展開する。

スポーツに限らず勝負ごとには圧倒的に敗者が
多い。負けの連続だと言ってしまう。

まあ、いく中で君たちにもこの先、様々な
勝負が待ち受けている。

負けの中から何を掴みとっていくのか、
祭りの後には必ず反動がくるものだ。寂しい悔しいの
結果をプラスにして、いけるかどうか。

全ては君たち一人一人の心が決めることだ。



福ニヤ
校長室
だより

ほたる草

NO.109

朝顔は

水輪のこたく

フネツギに

瀧辺水巴

平成二十八年八月二十六日(金)